

## 平成23年度 第4回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

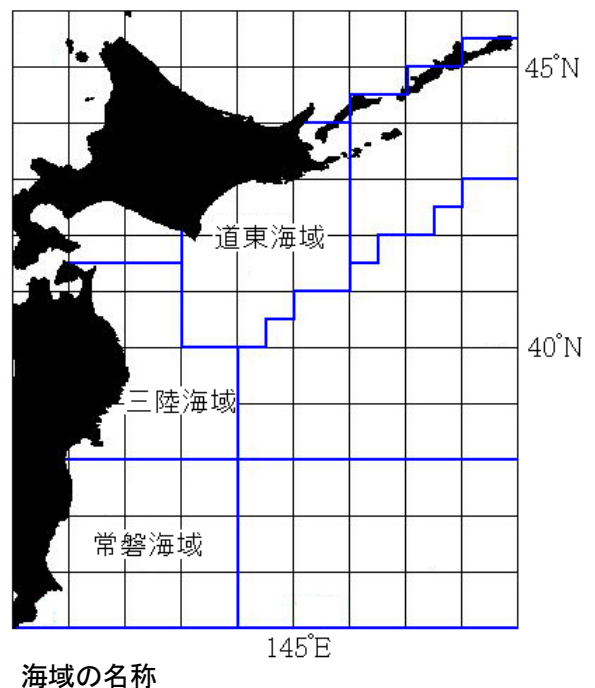
－ 別表の水産関係機関が検討し社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2011年10月中旬～11月下旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、来遊量は徐々に減少する。10月中旬の来遊量は中位水準であるが、10月下旬は低位水準となる。
- ・三陸海域では、来遊量はゆるやかに増加する。10月中旬の来遊量は低位水準であるが、10月下旬は中位水準となる。
- ・常磐海域では、11月上旬になると断続的ではあるが来遊がある。

(但し震災の影響により操業が行われるか不明である)



### 問い合わせ先

社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/index.html>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

# 平成23年度 第4回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2011年10月中旬から11月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量は徐々に減少し、10月中旬は中位水準であるが、10月下旬は低位水準となる。11月中旬には断続的となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

10月中旬～下旬の主漁場は、落石～釧路沖と、襟裳岬沖である。また落石沖にある暖水塊の東側を南下する親潮沿いでも漁場ができる。11月上旬は落石沖の漁場が消滅し、厚岸～襟裳岬沖が漁場となり、11月中旬は襟裳岬沖に断続的に漁場が残る。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月中旬は低位水準であるが、来遊量はゆるやかに増加し、10月下旬～11月中旬は中位水準となる。11月中旬から減少し、11月下旬は低位水準となる。

#### (2) 漁場

10月中旬は三陸北部に漁場が形成され、10月下旬～11月中旬は北部～南部にかけて漁場が形成される。11月下旬は、三陸北部の漁場が消滅し、南部に漁場が残る。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

11月上旬は断続的ではあるが来遊があり、来遊量はゆるやかに増加する。11月中旬まで低位水準で推移するが、11月下旬は中位水準となる。

#### (2) 漁場

現在、福島第一原子力発電所より半径100km圏内では、操業禁止となっている。

## 2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位減少	低位減少	低位減少	断続的	
	漁 場	落石～釧路沖 襟裳岬沖	落石～釧路沖 襟裳岬沖	厚岸～ 襟裳岬沖	襟裳岬沖	
三陸海域	来遊量					
	動向	低位増加	中位増加	中位水準	中位減少	低位減少
	漁 場	北部	北部～南部	北部～南部	北部～南部	南部
常磐海域	来遊量					
	動向			断続的	低位増加	中位増加

### 3. 漁況の経過概要（9月下旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、9月中旬より増加したものの、前年並みの低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に増加した。

##### (2) 漁場

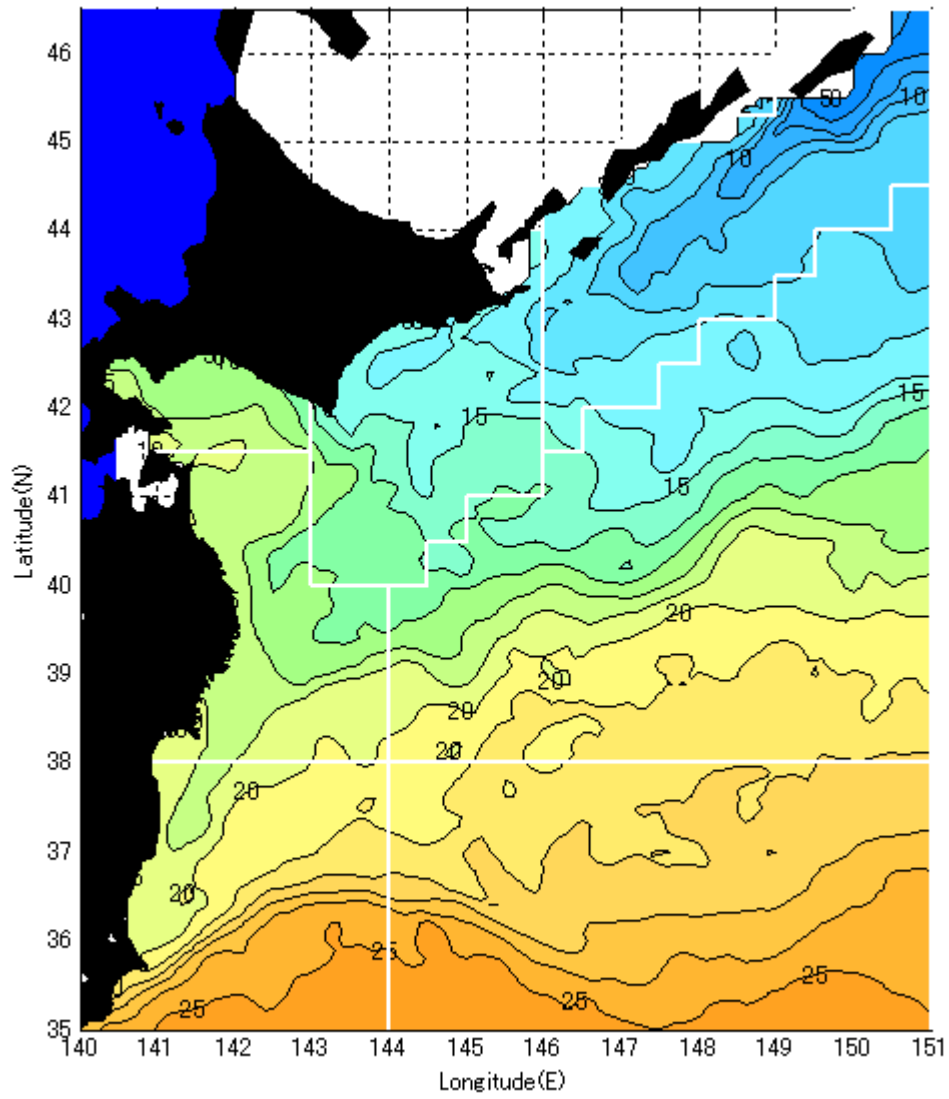
落石南～南東沖と襟裳岬南東沖に漁場ができた。落石南～南東沖の20～50海里付近（表面水温：13～16℃）では、大型船と小型船が操業。期半ばから漁獲量が多くなり、期後半には大型船で100トン以上漁獲する船も出てきた。襟裳岬南東60～70海里付近（表面水温：14～17℃）では、27日夜以降、連日大型船が10隻程度操業し、最高100トン以上漁獲した。

##### (3) 魚体

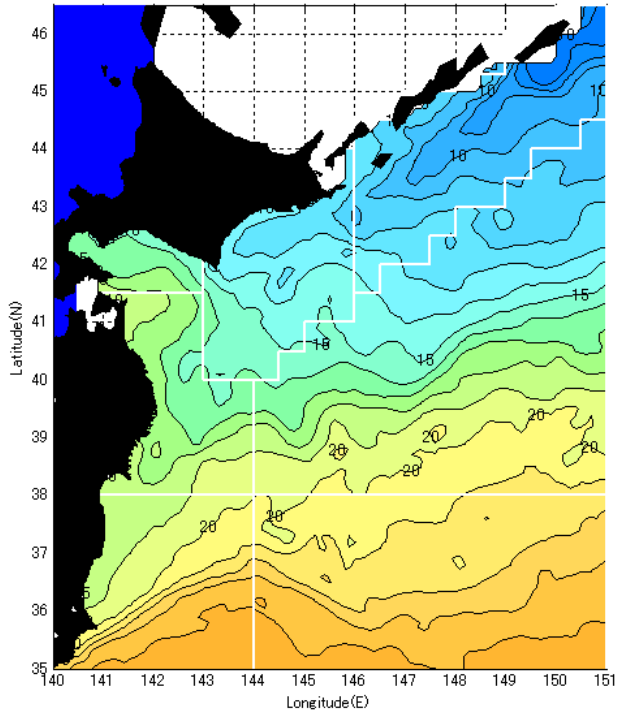
31cmモードの大型魚主体であったが、26～27cmモードの中型魚がやや多く混じる時もあった。体重は140～160g台が主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

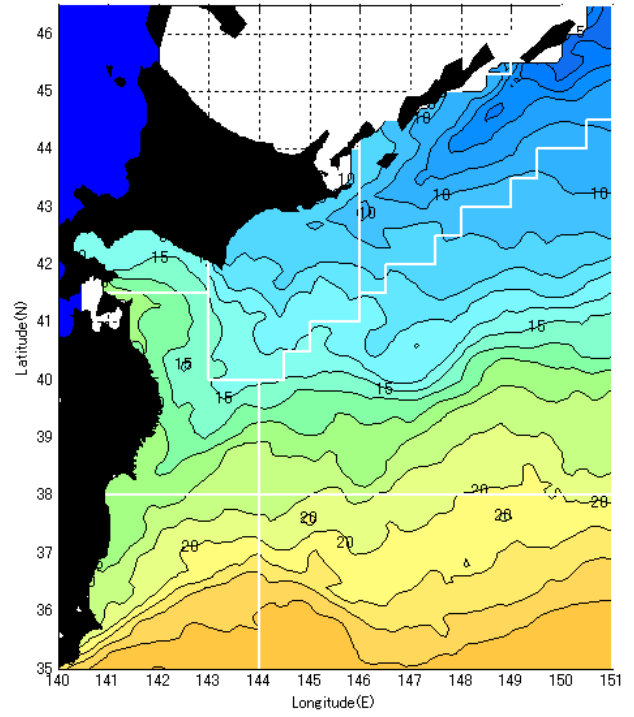
10月中旬予測表面水温分布図



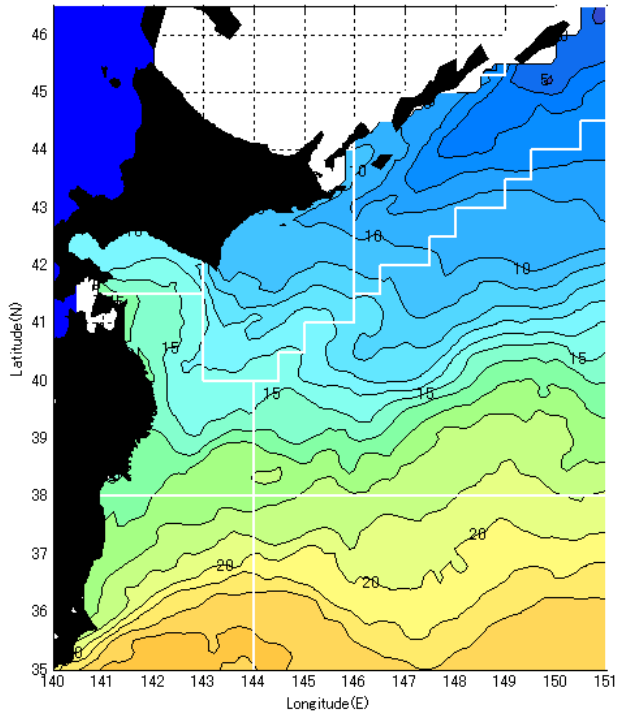
10月下旬予測表面水温分布図



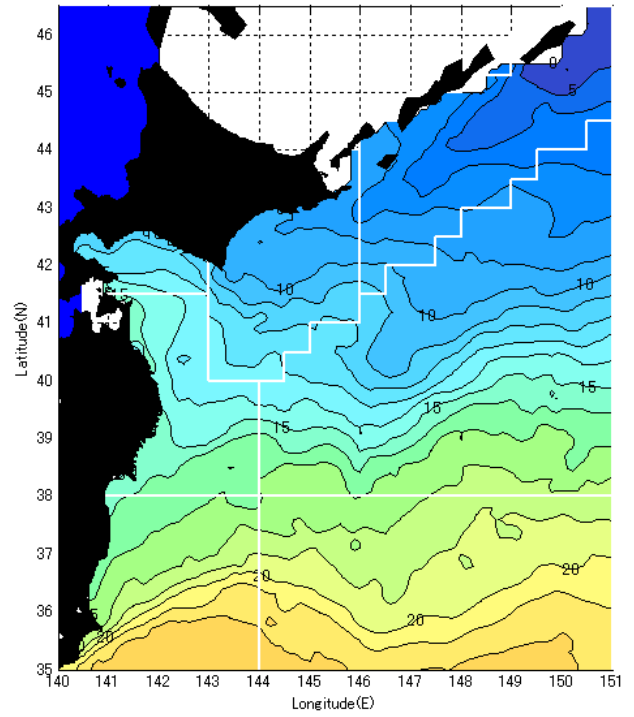
11月上旬予測表面水温分布図



11月中旬予測表面水温分布図



11月下旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--